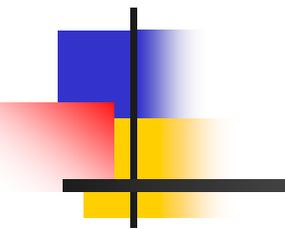
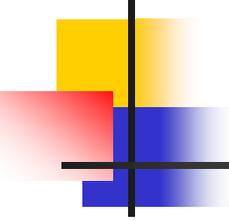


Who should decide? From Dax' Case



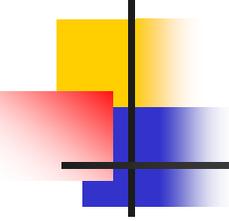
1. 「自己決定権」について
Daxは自己決定権を侵害されたこと
になるのだろうか。



1. 「自己決定権」について

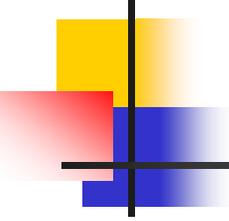
自己決定権は侵害されたという解釈

自己決定権は侵害されていないという解釈



解釈 : 自己決定権は侵害された

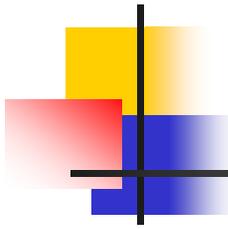
- この解釈の意味
- Daxの意思を尊重した場合に生じる問題点



解釈 : 自己決定権は侵害されていない

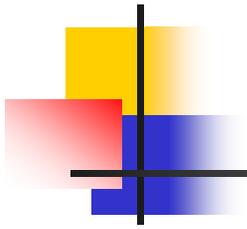
- この解釈の意味:

この場合の「自己決定権」は生きるための治療行為を行う際の権利であり、死ぬという選択はそもそも存在しない。



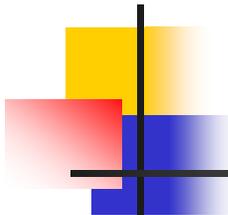
自己決定権をどのように尊重し うるか

- 治療法が複数ある際にどれを選ぶかは患者の自己決定権による
- ただし、著しく患者の不利益になる決定がなされた場合は、よりよい選択をするように説得



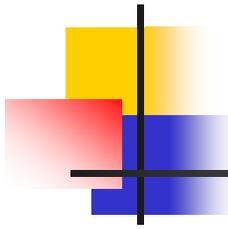
「患者の意思を理解する」とは

- 「理解」と「知る」の違い



理解する上での限界、問題点

- 短時間では困難
- 一人では困難



理解するための努力

- 完全に他者を理解することは困難であることが前提
- 医療者は「患者の理解」に近づけるような努力が必要

18班発表

Daxは自己決定権を侵害されたことになるのか

Yes.

ただし、ここで自己決定権について
意見が分かれた。

- ・自殺は自己決定権の範疇に含まれるのか
- ・どの時点で自己決定権を認めるべきだったのか
ex)事故直後など動転している場合は？

しかし、事故からしばらくたち精神的に落ち着いたときのDax
の意見も無視されているので、我が班では自己決定権が
侵害されたと結論づけた。

「自己決定権を尊重する」とはどういうことか

逆に自己決定権が尊重されないのは、

- ・他者に迷惑がかかる場合

ex) 扶養家族に対する迷惑

という意見がでた。だが、どこまで他者を尊重するべきなのか、

- ・Daxが死ぬことは母親に迷惑をかける(精神的苦痛を与える)ことになるのか

- ・医師の立場を超えて、患者の言うことを聞くべきなのか

なんやかんやあります。

で。

□ 結論。

「自己決定権の範疇
は決定することが難
しい」

「他者の理解」について

- 他者による理解には限界がある。重要なのは、あくまで第三者の自分が考えたことは患者自身が考えていることとは異なる、という前提を意識することである。
 - その上で、患者が意志を表明しやすい環境を整える、などの周囲の配慮が必要である。
-

例えば。

チーム医療の重視。

看護師の重要性の再確認。

治療方針への影響力を向上させる。

話しやすい環境作り。

同様の症例(この場合大やけど)から回復した人を紹介する。

コミュニティーを作る。

合同セミナー

Who Should Decide?

19班

奥野圭祐 高尾茉希 山下基 勝本祥子
邊見環 飯野弘子 前田学典 上野智香
坪田康弘 有村奈己 鷺尾有香

自己決定権について

侵害された

- 精神科医の診断によると正常な精神状態だった
- 「死にたい」という願望を問題外視
- 本人が自己決定権を侵害されていると思ったら、侵害しているということ

■ どうすればよかったのか

- 最初の母親による同意は適切だったか？
 - 命を救うことが最優先
- Daxは幸福になれたがそうはいかなかった場合は？
 - 治療が良かったとは必ずしも言えない

「自己決定権を尊重する」とは？

尊重 患者の発言をそのまま受け入れること

■ 結論

- 患者の意思に耳を傾けて、医療従事者側の意見も聞いてもらい、話し合うこと。
- その話し合いの中で、治療方針をともに決めていくこと
 - cf インフォームド コンセント
 - 話し合いは継続的に何回ももたれるべきである

「他者の理解」について

「患者の意思を理解する」には

どうしたらよいか

- ・対話 情報を得る・細かい心配り
- ・得た情報 患者のおかれている状況把握
- ・聞き、共感
- ・意見を聞き、自分の意見を押し付けない

「他者の理解」 続き 1

限界

- ・患者になることはできない
実際に痛みを感じることも不可能
- ・看護師・患者の親近者の話を医師一人
でまとめるのは無理

「他者の理解」 続き2

問題

- ・ 医師が忙しい 丁寧な対話できず
- ・ 医師が少ない
- ・ 患者・医師関係
- ・ 見解のずれ

「他者の理解」 続き 3

問題に対する対処法

- ・患者・医師の信頼関係
- ・医師が患者の対話する努力
- ・チーム医療

Who Should Decide? From Dax Case

小澤 高橋 山名 清松 保科
石井 松下 瓜生 中村 大泉

1. 「自己決定権」について

1、Daxが真に望んでいたことは？

自分の生死、治療の方針は自分で決める自由。

2、周囲の医師、

治療を受けて、今後の人生に価値を見出す。

3、そのそれぞれにどんなすれ違いがあったか？

「自己決定権の尊重」とは？

医者が無理に治療を進めようとするのは、Daxにとっては医者の信念ばかり主張されて、Daxの意思を聞いてくれないのと同じ。

Daxがリハビリに耐えられないと言っているのに、医者にはその苦痛がわからないから、後から楽になれるから我慢しろと言ってしまう。

母親はDaxの承諾なしに、同意書にサインをして、医師任せの治療をさせたり、退院後の行動を制限した。Daxには不満だった。

2. 他者の理解

1、周囲の誰が理解しようとしたか？

精神科医。Daxは退院後に自分の不眠症や自殺願望についてホワイト医師にだけ相談している。またホワイト医師の治療方針には素直に受けいれている。またホワイト医師はDaxとその母親の問題点に気づいている。

2、限界は？

医師の治療に対する決定権とぶつかるところ。

Who should Decide? : From Dax's Case

第21班

押尾・武井・山村・草壁・堀川・板倉・
海老名・二野井・落合

与えられた設問

1. 「自己決定権」について:

Daxは自己決定権を侵害されたことになるのだろうか。

「自己決定権を尊重する」とはどういうことだと考えたらよいだろうか。

2. 「他者の理解」:

「患者の意思を理解する」にはどうしたらよいのだろうか。また、そこにはどのような限界・問題があるだろうか。

1 . 自己決定権について

《Daxは自己決定権を侵害されたことになるのだろうか?》

わたしたちは皆「侵害された」と判断した。

ただし、新たな疑問として、

「死にたい」は自己決定権か？

1 . 自己決定権について

《 「死にたい」は自己決定権か？ 》

患者本人の立場からは、Yes。

周りの医者・母親たちからすると、No！

人は一人で生きているのではない。

周りは生きていて欲しい、助かって欲しい。

生きてみないと分からない。

自己決定権を否定せざるを得なかった。

緊急時には本人の判断を聞く余裕はない。

医者は治療に専念。母親は代理で同意書にサイン。

1 . 自己決定権について

《 「自己決定権を尊重する」とは？ 》

「死にたい」本人だけで決められるものか？

- 健康な人、病気(精神的・肉体的)の人
 - 宗教上の理由からの治療の拒否
 - なんらかの障害が残るであろう人
 - 現在の医療では治療の見込みがない末期の人 尊厳死は別。
-

1 . 自己決定権について

《 「自己決定権を尊重する」とは？ 》

「死にたい」本人だけで決められるものか？

- Daxのケースでは、母親や医者が本人の意見を聞いてあげられていなかったのでは？
-

2 . 患者の意思を理解する

《「患者の意思を理解する」には？》

「死にたい」の裏側をどうやって知るか？

本当は「生きたい、痛みを取り除いて欲しい」かも。

「死にたい」ということで、気持ちを和らげている？

本当の気持ちは、患者と同じ体験をしなくては分からない！

2 . 患者の意思を理解する

《本当の気持ちは、患者と同じ体験をしなくては
分からない！》

が、

理解しようと努力する姿勢

患者が、理解してもらおうとする

信頼関係が大切。

患者 = 医者、看護師、体験者、家族、療法士

2 . 患者の意思を理解する

《本当の気持ちは、患者と同じ体験をしなくては分からない！》

限界：

たとえ患者の意見を理解しても、実現するには限界がある。

患者が「死にたい」と言ったとき、本当に死にたいという意味なのか、死にたいくらい辛いと訴えたいだけなのか、判断するのに限界がある。

2 . 患者の意思を理解する

《本当の気持ちは、患者と同じ体験をしなくては分からない！》

番外編：

体験者の話を聞く機会を作ってあげる。

2004年度「合同セミナー」

テーマ

Who Should Decide? : From Dax' Case

22班

- 都河明子 (担当教員)
- 加治佐枝里子 (記録)
- 原川良介
- 大友奈津子
- 宮島久美子
- 上田梓
- 益子友恵 (司会)
- 小林明日香 (記録)
- 山本真魚 (発表)
- 竹本彩 (司会)
- 小沼博明 (発表)

1: 「自己決定権」について

それぞれの立場の主張

医師

- ・ 職業的使命
- ・ 同意書 (母親)

医師による思い込みの影響？

- ・ 患者自身への説明
説明不十分？

1: 「自己決定権」について

それぞれの立場から

母親

- ・ 子供を見殺しにできない
- ・ 同意せざるを得ない状況
(治療に対する知識不足)

1: 「自己決定権」について

それぞれの立場から

弁護士(知人)

・職業の優先

(提訴人生存を第一に考えている)

1: 「自己決定権」について

それぞれの立場から

Dax

最後まで侵害されたと主張、、、

- ・ QOLの重要性
- ・ 本人の意思尊重の無視
- ・ 医師の説明の不十分さ
- ・ 個人の自由選択権の剥奪

1: 「自己決定権」について

自己決定権を尊重するとは？

- ・患者による自身の治療選択

インフォームド・コンセントの重要性

コミュニケーションの必要性

但し、生死に関わる場合は慎重な態度

2:「他者の理解」

患者の意思を理解するには？

- ・患者・医師の関係ではなく人間として向き合う
- ・患者の背景を知る
- ・患者の立場になって考える

2:「他者の理解」

限界と問題

- ・完全に患者を理解はできない
- ・患者の能動的態度の必要性
 - 十分な情報開示
- ・時間的制約
 - アフターケア
 - チーム医療の重要性

合同セミナープレゼン テーション

Who Should Decide?
: From Dax' Case

第23班

「自己決定権」について

1. Daxが自己決定権を侵害されたかどうかは
不明

診療中の気持ちによる

現在の生活、生きていることに満足している

緊急患者の場合は別なのでは？

治療中の医師は患者の将来を考えている

自己決定権について

2. 自己決定権は侵害された

- ・同意書にサインしていないが明確に意思を示せたので、その意思を尊重すべき。

大事なことを決断できるのは本人のみ

- ・周囲(医師・母親)は満足しているが...

自己満足を押し付けている

- ・「結果」ではなく「プロセス」の問題: 周囲が理解しようとしていない、説明不十分

周囲が彼の考えを理解してあげることで、現在のDaxが持つ印象は変わり得た

自己決定権について

「尊重する」とは...

患者の望み全てをそのまま呑むことではない



医師の受け入れ方の問題。
自己満足で終わってはいけない。

さらに...

Daxは何を自己決定するべきだったのか
Dax・医師には別の選択肢があったのか
Daxは本当に死にたかったのか

「生きる」or「死ぬ」の2択ではなく、どう生きるか
選択肢があったなら、Bestでない治療についても効果
とメリット・デメリットの説明をしっかりとすべき。
なかったなら、受けるであろう苦痛を説明
治療の痛み、医師が分かってくれない苦しみからの
「死にたい」

医師の態度によっては変わっていたかもしれない

「他者の理解」

- 「患者の意見を尊重する」には「話すこと」が重要。
 - ・ 医師 患者の意思を聞くことから始める
 - 患者の意思を引き出す
 - 患者が選べるように選択肢を提示
 - (無理な場合は説明して納得させる)
 - 患者と時間をかけて向き合う

「患者の意思を理解する」ことについての 限界・問題

- ・ 医師と患者はやはり他人どうし
 - 100%患者の意思を実現することは不可能
 - 患者も医師の努力を評価して多少の妥協が必要
- ・ 医師が思う最善策と患者さんの選ぶ策の相違
 - 解決する医師の能力
 - 医師の意見を患者に押し付けず、コミュニケーションによる解決を
- ・ 緊急性(時間や症状)の問題

まとめ

医学・医療は日々変化する

見合う倫理も変化する

医療従事者1人1人考えていくべき

2004年度合同セミナー

第24班 鶴田先生

金久・田中・吉野・酒井・松本・内村
遠藤・岡本・深田・川本

発表の流れ

- 設問1 に対する回答
- 設問2 に対する回答
- 結論

設問1に対する回答

そもそも「自己決定権」とは…

- ・生きるか死ぬかを選択する権利
- ・医師側が提示した治療法を選択する権利

権利を主張できる環境とは・・・

- ・痛みがなくなった状態
- ・自分の意思が継続した状態
- ・周囲の人がケア

これらは患者側の視点

- ・自分 / 相手の尊重

(医療者と患者・親族)

互いが冷静であることを了解している

- ・第三者機関の介入

そこで「自己決定権を尊重する」とは・・・

- ・患者と他者との関わり合いの必要性
- ・話し合いの場、インフォームドコンセントの理解

選択の幅として2つの段階が考えられた

消極的安楽死は認められない

痛みの軽減はあっても良いのでは

結局、

Daxの場合・・・話し合いがもたれなかった

どちらの解釈にしても話し合いが前提となるので自己決定権を侵害された

設問2に対する回答

「患者の意志を理解する」とは・・・

患者の意志とは・・・

- ・話し合い
- ・周囲のスタッフへの話も参考に(情報の共有)
- ・カンファレンス

どのような限界が・・・

- ・医療側はどこまで聞き入れられるか
/してあげられるか
- ・患者「自分の言うことを理解してくれない」

意志の100%理解は医師・患者の一時的な
他人同士では無理

結論として

医者・患者どちらが正しいとは言えない
話し合ったところで線引きは難しい
社会的要因による違い